

のうしゅう かじ な は かじ やまち
濃州鍛冶で名を馳せた鍛冶屋町

Kajiya-machi was famous for blacksmiths.



むかし ごうど かたな つく かじ や
昔、神戸に刀を作る鍛冶屋があったんだよ！

There used to be a blacksmith in Godo !



ことば かいせつ
言葉の解説

Explanation of words

かじ やまち むかし かたな かじ やまち
鍛冶屋町は昔、刀鍛冶の町で
した。

Kajiya-machi Used to be a
Blacksmiths town.

のうしゅう ちほう むかし よ
濃州はこの地方の昔の呼び
名です。

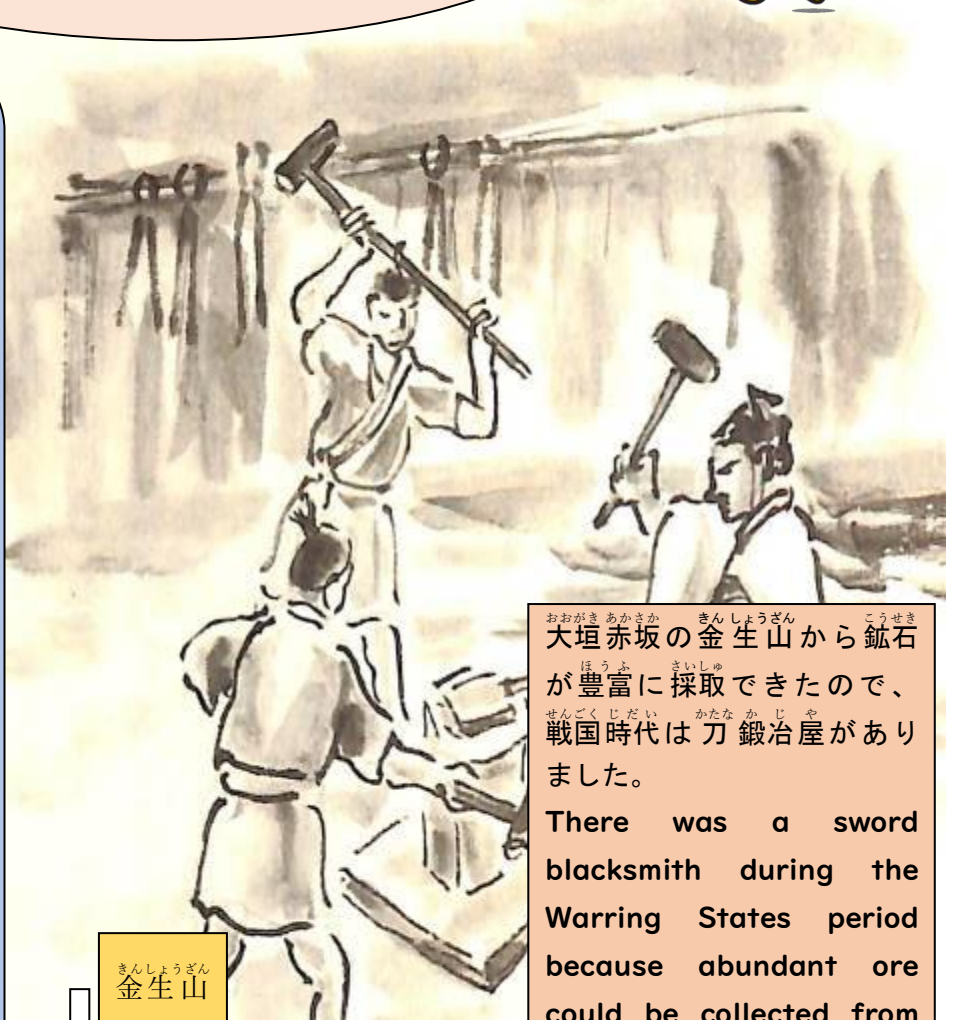
Nousho is the old name for
this region.

な は せいめい ひろ
名を馳せた、の意味は広く
名前や評判が知られるように
なることです

The meaning of na o ha
seta is to make
the name and reputation
widely known.

かじ や てつせいひん あつか
鍛冶屋とは鉄製品を扱い、
はもの のうぐ せいぞう しゅうり
刃物や農具などの製造、修理
を行うところです。

A blacksmith is a place
that handles iron
products and
manufactures and
repairs cutlery and farm
tools.



きんしょうざん
金生山

おおがき あかさか きんしょうざん こうせき
大垣赤坂の金生山から鉱石
が豊富に採取できたので、
せんごくじだい かたな かじ や
戦国時代は刀鍛冶屋があり
ました。

There was a sword
blacksmith during the
Warring States period
because abundant ore
could be collected from
Mt,kinshozan in Akasaka,
Ogaki.

えどじだい のうぐ せいぞう
江戸時代からは農具の製造が
主流でした。

Since the Edo period. the
production of farm tools
has been the mainstream.